# 政策番号 22 政策分野 景観

基本方針

京都の個性や魅力の源は、歴史や文化であり、そしてそれらを表象する美しい景観である。この優れた京都の景観を守り、育て、つくり、そしてこれらを生かしていくことにより、日本を代表する歴史都市・京都の魅力や価値を高め、50年後、100年後も京都が京都であり続けるため、市民と行政との協働により、時を超え光り輝く京都の景観づくりを推進していく。

**担当局** 都市計画局 **共管局** 建設局

政策に関係する主な分野別計画等

京都市景観計画、京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン、

京都市歴史的風致維持向上計画,

京町家再生プラン,京(みやこ)の道デザイン指針,

京都市歴史的風致維持向上計画

# 政策の評価

### 1 客観指標評価

	政策の客観指標評価	23年度	32年度	25 年	26 年		27	7年度評	価	
	以及の合就用係計画	評価値	目標値	度	度	前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	三山森林景観保全・再生ガイドラインに基づく森林 整備面積(ha)	14.18	140	а	а	79.28	21.93	14	156.6%	а
2	景観に関する適合証の交付率(%)	52.3	100	d	С	52.6	65.0	100	65.0%	b
3	屋外広告物等に係る許可件数(件)	1,904	1,680	b	а	4,197	5,672	2,666	212.8%	а
4	地域の景観を形成する核となる建造物等の指定数 (件)	11	349	b	е	9	14	30	46.7%	d
5	歴史まちづくり法による道路修景整備地区の無電柱 化完了延長(km)	0.31	4.58	е	С	0.22	0.10	0.458	21.8%	d
6	景観づくりに取り組む地域数(件)	5	50	d	d	2	2	5	40.0%	d
				С	С					С

	施策の客観指標評価						
施策番号	施策名	25年度	26年度	27年度			
2201	山紫水明の自然景観の保全(2指標)	а	b	b			
2202	品格のある市街地景観の形成(2指標)	С	b	а			
2203	歴史的な町並みや京町家等の保全(1指標)	b	е	d			
2204	無電柱化等による魅力あふれる道路空間の創出(1指標)	е	С	d			
2205	市民とともに推進する景観まちづくり(1指標)	d	d	d			
	(5施策平均)	С	С	C			

政策の客観指標総合評価	25年度	26年度	27年度
(政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)	-	C	С

# 2-1 市民生活実感評価

番号	設問		評価	
田方	<b>政</b> 问	25年度	26年度	27年度
1	京都の個性的な町並み景観が守られている。	b	b	b
2	身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。	b	b	b
3	京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。	b	b	b
4	大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えている。	С	С	С
5	三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。	а	а	а
	市民生活実感調査総合評価	b	b	b

### 2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

25	25年度		丰度	273	丰度
順位	%	順位	%	順位	%
11	85.1%	11	85.9%	11	83.7%

# 3 総合評価

#### 政策の目的がかなり達成されている В

【客観指標】●森林整備面積については、平成23年5月に策定した「三山森林計画景観保全・再 生ガイドライン」に基づき,着実に整備が進んだことから,3年連続a評価と高い評価で安定してい

- ●景観適合証交付率については,目標値には届かなかったものの,認定証の交付の際に完了 届の提出を促し続けてきた結果,適合証までが一連の手続きであるという認識が浸透してきてい ると考えられ, c→b評価に改善した。
- ●屋外広告物等許可件数については,引き続き屋外広告物制度の定着促進をはじめとした屋 外広告物適正化に向けた取組を強力に進めたことにより, a→a評価と高い評価で安定している。
- ●地域の景観の核となる建造物等の指定数については、平成26年度は指定に向けて関係部 署・機関との情報共有に努め, 指定建造物候補の所有者に対して積極的なアプローチを行った 結果,前年度に比べ指定件数が増え,e→d評価と改善した。
- ●道路修景整備地区の無電柱化完了延長については,1工事箇所で事業中であったが,多額 の事業費を要することにより事業が進まず,事業年度内での整備完了とならなかったことから,c →d評価と悪化した。
- ●景観づくりに取り組む地域数は、地域の景観づくりに関心を示す地域がいくつかあったが、26 年度中に地域全体の取組として発展したのは2地域にとどまったため,3年連続d評価となった。

【市民の実感】●京都の個性的な町並み景観の保全, 身近に誇りや愛着を持てる町並み・風景 の保全, 京町家の継承, 三山の山並みなどの自然風景の魅力については, これまでの景観保全 に関する取組・支援等により肯定的に評価されており、3年連続b評価又はa評価と安定してい

●無電柱化については、幹線道路や景観に配慮すべき地域を中心に取組を進めており、市民 が身近に利用する道路で,無電柱化された路線(道路)が少ないことから,無電柱化により美しい 25年度 公共空間が増えていると実感した回答が4割程度にとどまったと考えられ,3年連続c評価となっ

【総括】●客観指標においては,aからdまでの結果にばらつきが見られるが,この政策は,京都 の歴史や文化が実感できる景観づくりを目指しており,市民の実感においては高く評価されてい

●こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。

В

26年度

В

# 今後の方向性の検討

# <この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総	合評	·価
心及宙与	<b>心</b> 束石	25	26	27
2201	山紫水明の自然景観の保全	Α	Α	Α
2202	品格のある市街地景観の形成	В	В	В
2203	歴史的な町並みや京町家等の保全	В	С	С
2204	無電柱化等による魅力あふれる道路空間の創出	D	С	С
2205	市民とともに推進する景観まちづくり	С	С	С

#### く今後の方向性>

- ●緑や水辺の整備による四季を楽しめるまちの実現に向け、平成23年5月に策定した「三山森林景観保全・ 再生ガイドライン」に基づき, 市民や事業者との協働により, マツ枯れ・ナラ枯れ対策等, 森林景観の保全・形 成や良好な森林環境の維持に向けた取組を進める。
- ●都市景観を形作る重要な要素である屋外広告物について, そのすべてが適正に表示されるとともに, 京 都にふさわしい優れた広告物の普及促進を図るため、引き続き、強力に取組を進めていく。
- ●品格のある優れた町並み景観の拡大や、それぞれの地域独自の景観づくりに向け、歴史都市・京都にふ さわしい景観の保全と創造に向けた基本的な枠組みは維持しつつ,市民や事業者の意見を踏まえてさらに 進化した景観政策に基づき、市民とともに創造する景観づくりに関する仕組みの整備、優れた建築計画の誘 導、景観重要建造物等への指定などに取り組む。
- ●無電柱化による魅力あふれる道路空間の創出に向け、引き続き、市民、事業者、行政が連携して取組を 推進する。

政策			22	景観							
指標	名	三山森	林景観	果全・耳	<b>耳生ガイドライ</b>	ンに基づく森	林整備面	積 (ha)	)		
担当	部室	者	都市景観	部	連絡先 222-3475						
	標の説明										
国有林及	及び民有	林(本市	方所有林を	と含む。	)における森林	景観を保全・再	生するため	めに整備	した面積		
	<b>標の意</b> 味		重要な要素	長となっ	ている	<b>3 算出方法</b> 出典:事業担	<b>よ・出典等</b> ・	<u> </u>			
国有林及	及び民有	林(本市	方所有林を			四兴,于宋温:					
<u> </u>	と示す指揮 <b>値</b>	宗									
	D(平成3	2年度)			平成32年度目標値	歴史的風土特別保	存地区の指置	根拠	861haの約	5%に相当	当する面
目標値			14.	18	140	積を目標値とする		ж. <sub>(ж. 1</sub> , 5-1)		7012182	- 7 Ф ш
	前回 25 <sup>左</sup>		最新 26 <sup>生</sup>		推移	数値	単	单年度目標 根	値 !拠		達成度
数値	79.			.93	57.35ha減少	14		持別保存地区∅	の指定面積約2 1 0 年間で取約		156.6%
					中長期目標	1					
	全国順位	数值	目標年次	達成度	村	艮拠		/ <del>#</del> <del>**</del>			
数値		140	32年度	134. 6%	歴史的風土特別保存地区 5%に相当する面積を目		句	備考			
										-4-5	
	価基準				6 基準説明				7 評価	助結果	
各年度の	単年度目	標値に対	対する達成	きました。	民有林の整備は,				<b>7 評</b> 値 25	26	27
各年度の a:80% b:60% c:40% d:20%	単年度目 以上 以上80% 以上60% 以上40%	未満 未満	対する達成	度が,		上の境界等の個別 きいことを踏まえ 達成度が80%以上	の事情に ., 単年度 :の場合を				27 <b>a</b>
各年度の a:80% b:60% c:40% d:20% e:20%	単年度目 以上 以上80% 以上60% 以上40% 未満	未満 未満 <b>景観に</b>	関する	商合証(	民有林の整備は, 発生や民有地同っ よるところが大き 目標値に対する 最高の a 評価とし	⊦の境界等の個別 きいことを踏まえ 幸成度が80%以上 →, 以下20%刻み	の事情に , 単年度 の場合を で設定し		25 <b>a</b>	26	
各年度の a:80% b:60% c:40% d:20% e:20% <b>指標</b> : 担当	単年度目以上 以上80% 以上60% 以上40% 未満 名	未満 未満 <b>景観に</b>		商合証(	民有林の整備は、発生や民有地同二よるところが大き目標値に対する最最高の a 評価とした。	上の境界等の個別 きいことを踏まえ 達成度が80%以上	の事情に , 単年度 の場合を で設定し	2-34	25 <b>a</b>	26	
各年度の a : 80% b : 60% c : 40% d : 20% e : 20% <b>指標</b> <b>担</b> <b>担</b> <b>法証</b> <b>直</b> <b>表</b> <b>高</b> <b>力</b> <b>大</b> <b>表</b> <b>表</b> <b>表</b> <b>表</b> <b>2</b> <b>1</b>	単年 度目 以上80% 以上60% 以上上40% 満 名 密 標の都市た認定 標の意味	未未未未 <b>景観に</b> <b>月</b> 事験物に <b>根</b> ので相	<b>関する</b> 都市景観: 整備条例に 工作物の割	<b>商合証の</b> 部 基づき景認証 高合 、適合証	民有林の整備は、発生や民有地に同じよるところが大き目標値に対する。最高の a 評価とした。	上の境界等の個別さいことを踏まえ 達成度が80%以上 一、以下20%刻み 連絡先 た計画であると認知 び工作物の工事が完	の事情に , 単年度 の場合をして設定し 22 を受した際, <b>生を受した際</b> ,	築物及びコ 条例により	25 <b>a</b> <b>a</b> <b>c</b> <b>c</b> (作物のう) (完了届の)	26 <b>a</b> ち,完了 提出を義務	<b>a</b> ※査を行いてお
各年度の a : 80% b : 60% c : 40% d : 20% e : 20% <b>指標</b> <b>担</b> <b>担</b> <b>担</b> <b>担</b> <b>担</b> <b>担</b> <b>近</b> <b>近</b> <b>で</b> <b>1</b> <b>間</b> <b>し</b> <b>1</b> <b>し</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b></b>	単年 度目 以上80% 以上60% 以上上40% 未 名 部 標の部市と認 標の意味 でなり容がある。 標の表 でなりなか。 標の表 でなりなか。 標の表 でなかる。 標のみとも	未未未未 <b>景観に オ 調 ボール</b>	部市景観: 整備条例に 整備条例に 連なければ	<b>商合証の</b> 第  基合 適合証の  変び工作	民有林の整備は、発生や民有地に同じよるところが大き目標値に対する。最高の a 評価とした。	上の境界等の個別さいことを踏まえ 達成度が80%以上 上、以下20%刻み 連絡先 た計画であると認知 び工作物の工事が学	の事情に , 単年度 の場合をして設定し 22 を受した際, <b>生を受した際</b> ,	築物及びコ 条例により	25 <b>a</b> <b>a</b> <b>c</b> <b>c</b> (作物のう) (完了届の)	26 <b>a</b> ち,完了 提出を義務	<b>a</b> 途査を行いてお
各 年度の	単上 80%: 単上 80%: 上 60%: 上 40%: 本 <b>名 室                                  </b>	未未未未 <b>景観</b> (1) 者 観び相 未 和 た 割し と 合	野する道整備条例に 整備条例に 連なければ に建築物が に建築物が	<b>商合証</b> の 部 基合 適合 素認証 ひ工作	民有本の整備は、発生や民有が日間にあるところがする。目標値に対する。最高の a 評価とした。  つ交付率(%)  観上の制限に適合したを発行している。  物とし	上の境界等の個別 さいことを踏まえ 達成度が80%以上 一、以下20%刻み 連絡先 た計画であると認定 び工作物の工事が与 第出方法: (i	の事情に , 単年度 の場合をして設定し 22 を受した際, <b>生を受した際</b> ,	築物及びご 条例により ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	25 <b>a</b> <b>a</b> <b>c</b> <b>c</b> (作物のう) (完了届の)	26 <b>a</b> ち,完了 提出を義務	<b>a</b> 注査を行いてお
各年度の% 各 1 80%	単年度目以以上80% 以以上60% 以以上40% <b>名 室 標の説</b> <b>(本の意)</b> 「でなった」 「でする。 「でする。」 「でする。 「でする。」 「でする。 「です。 「でする。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です	未未未未 <b>景観</b> (1) 者 観び相 未 和 た 割し と 合	野する道 都市景観: 整備条例に 連なければ 上建築物及 子を示す打	<b>商合証</b> の 部 基合 適合 素認証 ひ工作	民有林の整備は、発生や民有地に同じよるところが大き目標値に対する。最高の a 評価とした。	上の境界等の個別 さいことを踏まえ 達成度が80%以上 一、以下20%刻み 連絡先 た計画であると認定 び工作物の工事が与 第出方法: (i	の事情に の事情に の事情に 度を ので設定し 2 2 を受けた を受けた を受けた を の合証 交付 を の合証 を の合証 を の合証 を の合記 の合記 の合記 の合記 の合記 の合記 の合い の合記 の合記 の合い の合い の合い の合い の合い の合い の合い の合い	築物及びご 条例により <b>手</b> 十件数 ÷ 記 根拠	25 <b>a</b> <b>a</b> <b>で作物のうう</b> で完了届の記	26 <b>a</b> ち,完了検 提出を義務	<b>a</b> 資査を行い が付けてま
各年度の% 各 1 80%	単上 80%: 単上 80%: 上 60%: 上 40%: 本 <b>名 室                                  </b>	未未未未 <b>景観に</b> オール ・	<b>関する</b> 都市景観記 整備条例に 連なければ 上建築物及 を示す打 平成23年	<b>商合証の</b> 部 基づき景認証 女び標 <b>度評価値</b>	民有本の整備は、発生や民名がする。 発生や民名がする。 日標値に対す価とした。 の交付率(%) 一般に適合している。 で発行している。 で発行している。 でで発行している。	上の境界等の個別 さいことを踏まえ 達成度が80%以上 一、以下20%刻み 連絡先 た計画であると認定 び工作物の工事がデ 3 <b>算出方法</b> 算出方法: (i	の事情に の事情に の事情に ので設定し を受けた建 を受けた際、 を受けた際、 を受けた際、 なび工作物に	築物及びご 条例により <b>手</b> 十件数 ÷ 記 根拠	25 <b>a</b> <b>74</b> C作物のうの の完了届の。 認定件数	26 <b>a</b> ち,完了検 提出を義務	<b>a</b> 資査を行い が付けてま
各 a b : 60% c d : 20% f a b : 44% f a b c : 420% f a b : 420% f a b : 420% f a b i b i b i b i b i b i b i b i b i b	単上 80%: 単上 80%: 以以上 60%: 人名	未未未未 <b>景観 『 月</b> 海築内 <b>未</b> 調し <b>2年 値 数 度</b>	野する 野市景観 整備条例に 整備条例に 連なければ こ建築物及 でを示すす	<b>商合証</b> の 部 基合。 適 び工 度 評価値 2.3 数度	民有林の整備は、発生や民名がする。 発生や民名がする。 おるとして対価とした。 の交付率(%) 一般に適合している。 で発行している。 で発行している。 で発行している。 本格としまする。	上の境界等の個別 さいことを踏まえ 達成度が80%以上 一、以下20%刻み 連絡先 た計画であると認定 び工作物の工事が写 3 <b>算出方法</b> 算出方法: (i	の事情に の事情に の事情に 度を受けた際。 を受けた際。 を受けた際。 を登れる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいまする。 でいまる。	築物及びコ 条例により 十件数÷ ま 根拠 ついて, 適 単年度目標 根	25 <b>a</b> <b>74</b> C作物のうの の完了届の。 認定件数	26 <b>a</b> ち,完了核 提出を義 う × 1 0	<b>a</b> 資査を行いま 分付けてま
各 年 度 の % と	単上 80%: 単上 80%: 以以上 60%: 人名	未未未未 <b>景観</b> (これ)	野する 野市景観 整備条例に 整備条例に 連なければ こ建築物及 でを示すす	<b>商合証の</b> 部 基合, 適合素認証 を計標 <b>度評価値</b>	民有林の整備は、発生や民名がする。目標値に対す価とした。  「一般性を関係を対するでは、一般性ができます。」では、「一般性では、」」では、「一般性では、「一般性では、「一般性では、」」では、「一般性では、「一般性では、「一般性では、」は、「一般性では、「一般性では、」」は、「一般性では、「一般性では、、」は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	上の境界等の個別 さいことを踏まえ 達成度が80%以上 一、以下20%刻み 連絡先 た計画であると認定 び工作物の工事がデ 第出方法: (i	の事情に度を ・明報の ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・の	築物及びコ条例により 条例により 十件数 ÷ i を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	25 <b>a</b> <b>7 4</b> 「作物のうのででである。 ででである。 でもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	26 <b>a</b> ち, 完了検 提出を義務 ) × 1 0	<b>a</b> 資査を行い が付けてま
各 a b : 60% b c d d e : 20% f a b : 40% d e : 20% d e : 20% f a b : 40% d e : 20% d e :	単上 80%: 単上 80%: 以以上 60%: 人名	未未未未 <b>景観 『 月</b> 海築内 <b>未</b> 調し <b>2年 値 数 度</b>	野する 野市景観 整備条例に 整備条例に 連なければ こ建築物及 でを示すす	<b>商合証</b> の 部 基合。 適 び工 度 評価値 2.3 数度	民有林の整備は、発生や民ろがするとしまる値に対す価とした。  「一般性をできないでは、一般性のでは、一种性の、一种性の、一种性の、一种性の、一种性の、一种性の、一种性の、一种性の	上の境界等の個別 さいことを踏まえ 達成度が80%以上 一、以下20%刻み 連絡先 た計画であると認定 び工作物の工事が写 3 <b>算出方法</b> 算出方法: (i	の事情に度を ・明報の ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・の	築物及びご条例により 条例により 十件数 ・ 根拠 ついて, 適 単年度目標根 で、 連発でされる	25 <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b>	26 <b>a</b> ち, 完了検 提出を義務 ) × 1 0	<b>a</b> 資査を行いま 分付けてま
各 a b : 60% c d : 20% f a b : 44% f a b c : 420% f a b : 420% f a b : 420% f a b i b i b i b i b i b i b i b i b i b	単上 80%: 単上 80%: 上 80%: 上 80%: 上 40%: 本 2 標の都した認 で 2 が新した認 で 2 があった付 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1	未未未未 <b>景観</b> (これ) 本 <b>観び相</b> (これ) 本 <b>観び相</b> (これ) と <b>度</b> (1) を <b>変度</b> (2.6) (2.6)	野する。 野市景観。 整備条例に 連なければ 主建築物及 でを示す打 平成23年 52 最新 26 <sup>4</sup> 65	<b>商合証の</b> 部 基合。適合工作 度評価値 2.3 数度 5.0	民有林の整備は、発生や民ろがするとしまる値に対す価とした。  「一般性をできないでは、一般性のでは、一种性の、一种性の、一种性の、一种性の、一种性の、一种性の、一种性の、一种性の	上の境界等の個別といことを踏まえを放成といことを踏まえを放成以下20%刻みの以上し、以下20%刻みの以上し、以下20%刻みの以上し、以下20%刻みのは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないで	の事情に度を ・明報の ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・の	築物及びコ条例により 条例により 十件数 ÷ i を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	25 <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b>	26 <b>a</b> ち, 完了検 提出を義務 ) × 1 0	<b>a</b> 資査を行い 分付けてま
A a b c d e : 20%       A a c d e : 20% <td>単以以以以未 名 部 標原付め、 を で が で で で で で で で で で で で で で で で で で</td> <td>未未未 <b>景間</b> (1) 本 <b>観</b> (1) 本 <b>1</b> を <b>1</b> を <b>1</b> を <b>1</b> を <b>1</b> を <b>1</b> を <b>2</b> を <b>2</b> を <b>3</b> を <b>1</b> を <b>3</b> を <b>3 3</b> を <b>3</b> を <b>3 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 </b></td> <td>野する 整備条例に割 整備条例に割 をなければ 主建築がすれ ではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td> <td><b>商合証</b>の 部 基合, 女情 度 評価値 2.3 数度 5.0 達成度</td> <td>民有林の整備は、 発生やとこの対す価とした。  「一般を表現である。」  「一般を表現である。」  「一般を発行している。」  「一般を発</td> <td>上の境界等の個別さいことを踏まえき をいことを踏まえき を放度が80%以上し、以下20%刻み 連絡先 た計画であると認識 び工作物の工事が写 第出方法: (i</td> <td>の事情に度をし、 ・場のでで設定ででいる。 ・のでででできます。 ・出典等 ・はび工作物にできます。 ・では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で</td> <td>築物及びご条例により 条例により 十件数 ・ 根拠 ついて, 適 単年度目標根 で、 連発でされる</td> <td>25 <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b></td> <td>26 <b>a</b>  ち,完了核 提出を義務  ) × 1 0</td> <td><b>a</b> 資査を行いま 分付けてま</td>	単以以以以未 名 部 標原付め、 を で が で で で で で で で で で で で で で で で で で	未未未 <b>景間</b> (1) 本 <b>観</b> (1) 本 <b>1</b> を <b>1</b> を <b>1</b> を <b>1</b> を <b>1</b> を <b>1</b> を <b>2</b> を <b>2</b> を <b>3</b> を <b>1</b> を <b>3</b> を <b>3 3</b> を <b>3</b> を <b>3 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 </b>	野する 整備条例に割 整備条例に割 をなければ 主建築がすれ ではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	<b>商合証</b> の 部 基合, 女情 度 評価値 2.3 数度 5.0 達成度	民有林の整備は、 発生やとこの対す価とした。  「一般を表現である。」  「一般を表現である。」  「一般を発行している。」  「一般を発	上の境界等の個別さいことを踏まえき をいことを踏まえき を放度が80%以上し、以下20%刻み 連絡先 た計画であると認識 び工作物の工事が写 第出方法: (i	の事情に度をし、 ・場のでで設定ででいる。 ・のでででできます。 ・出典等 ・はび工作物にできます。 ・では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	築物及びご条例により 条例により 十件数 ・ 根拠 ついて, 適 単年度目標根 で、 連発でされる	25 <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b>	26 <b>a</b> ち,完了核 提出を義務  ) × 1 0	<b>a</b> 資査を行いま 分付けてま
A a b : 40%       A a i i i i i i i i i i i i i i i i i i	単以以以以未 名 部 標京付容 が 標立を を の 説 市 市 建定	未未未未 <b>景観</b> ( す	野する。 野市景観。 整備条例に 連なければ 主建築物及 でを示す打 平成23年 52 最新 26 <sup>4</sup> 65	<b>商合証</b> の 部 基合, 女情 度 評価値 2.3 数度 5.0 達成度	民有林の整備は、発生や民ろがするとしまる値に対す価とした。  「教生やとこ対す価とした。」  「教生の制限に適合した。」  「教生の制限に適合した。」  「教育を発行している。」  「本本のでは、「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	上の境界等の個別をいことが80%以上の大きを強いことが80%以上の大きを強い。 連絡先 た計画であると認識が100 第出方法 第出方法 第出方法 第出方法 100 変換	ので   ので   で   で   で   で   で   で   で 	築物及びより 条例により 十件数 ・	25 <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>a</b> <b>b</b> <b>a</b> <b>b</b> <b>a</b> <b>b</b> <b>a</b> <b>b</b> <b>a</b> <b>b</b> <b>a</b> <b>b</b> <b>b</b> <b>b</b> <b>c</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d</b> <b>d d</b>	26 <b>a</b> ち,完了核 提出を義務  ) × 1 0	<b>a</b> 資査を行い 分付けてま

政策名 22 景観

指標名 屋外広告物等に係る許可件数(件)

担当部室 屋外広告物適正化推進室 連絡先

708 - 7690

# 指標の説明

京都市屋外広告物等に関する条例による屋外広告物等の許可件数

2 指標の意味

地域の建築物や町並みと調和した屋外広告物と して許可された件数を示す指標

算出方法・出典等

出典:事業担当課調べ

4 数値

10年後の(平成32年度)	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠	
目標値	1,904	1,680	複数年(年度の件数集計が可能な平成20~22年度)	の平均値

	前回数值	最新数值	₩14		単年度目標値	
	25年度	26年度	推移	数值	根拠	達成度
数值	4,197	5,672	1,475件増	2,666	複数年(過去3年間(平成23~25年 度))の平均値	212.8%

					中長期目標
	全国順位	数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

当該指標は、経済状況等の外的要因の影響を5 けるため、複数年の平均値を目標値とする。 23年度許可件数:1,650件 24年度許可件数:2,153件 25年度許可件数:4,197件 備考

#### 評価基準

d: 70%以上 90%未満 e: 70%未満

#### 6 基準説明

最新数値の単年度目標値に対する達成度が, ・単年度目標値に対する達成度が100% a:130%以上 の場合を c 評価の中心と設定

・20%刻みでa~e評価

b:110%以上130%未満 c: 90%以上110%未満 7 評価結果

25	26	27
b	а	а

#### 指標名 地域の景観を形成する核となる建造物等の指定数(件)

担当部室 都市景観部 連絡先 222-3397

#### 指標の説明

地域の景観を形成する重要な要素となっている建造物について、景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物等に指 定された数

#### 指標の意味

地域の景観を形成する重要な要素となっている 建造物の保全数を示す指標

#### 算出方法・出典等

出典:事業担当課調べ

# 4 数値

10年後の(平成32年度)	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
目標値	11		景観重要建築物の指定候補数が約600件あり,平成23年度からの10年間でこの半分の指定を目標とする。

	前回数值	最新数值	単年度目標値 単年度目標値				
	25年度 26年度		推移	数值	根拠	達成度	
数值	9	14	5件増	30	32年度目標値達成のため,当該年度達成すべき件数	46.7%	

	A = 145 /4	中長期目標							
	全国順位	数值	目標年次	達成度	根拠				
数值	全国1位	349件	32年度	28. 1%	景観重要建築物の指定候補数が約600件あり、平成23年度から の10年間でこの半分の指定を目標とする。				

備考

中長期目標の達成度は、これまで の総指定件数(累計)を、目標年 次の数値比で示したものとする。 (平成26年度末累計数値:98件)

# 評価基準

# 6 基準説明

単年度目標値に対する達成度が, 過去の最高値をc評価とした。 (21件以上) <過去の指定件数> a:70%以上

平成17年度3件, 平成18年度17件 平成19年度6件, 平成20年度 0件 平成21年度8件, 平成22年度11件 b:60%以上70%未満(18~20件) c:50%以上60%未満(15~17件) d:40%以上50%未満(12~14件)

e:40%未満 (~11件)

# 7 評価結果

25	26	27
b	е	d

				_								
政策	名	2	22	景観								
指標名 歴史まちづくり法によ					道路修景整備均	也区の無電柱化完	了延長(	(km)				
担当部室 道路建設部					連絡先	2 2	2 - 35	5 7 0				
1 指	<u> </u>											
地域には	おける歴	史的風致				歴史まちづくり法	:) に基へ	ゔき策定	した「京	都市歴史	<b> </b>	
	維持向上計画」に記載のある道路修景整備地区での無電柱化完了延長											
歴史的/	<b>標の意</b> な な町並み 犬況を示	景観に酢	2慮した美	しい公	共空間	3 算出方法 算出方法:道路修 年の執行事業費との 事業費)*計画総延長 出典:事業担当課調	大整備地区 3 )割合を整備 と)	と4地区の				
	4 数值											
10年後6	の(平成3	2年度)	平成24年。		平成32年度目標個 4.58	道路修書報	2.	根拠	業の原則	100%宝	旃	
II IN IE			0.0	, ı	4.00	<b>运</b> 品 [6] 京立		电红币	· 本 (7 )小 只	100 /0 🔀	عار	
		数値 F度		<u>長新数値</u> 推移		数値	単	年度目標 #	値 !拠		達成度	
数値		22	0.1		0.12km減	0.458	32年度の 度に達成っ	目標を達成	けるために	こ当該年	21.8%	
	<u> </u>	I			中長期目標		及に建成	り、こ 数准	<u> </u>			
	全国順位	数値	目標年次	達成度		艮拠		備考				
数值								nut. ca				
	価基準				6 基準説明			1	7 評価	<b>Б結果</b>		
単年度 la:80% l	目標に対 ソト	する達成	え度が		当該指標については、電線管理者や地元 の合意形成・協力が必要不可欠であるこ				25	26	27	
b: 60%L	以上~80				とから、80%以上をa,以下20%刻みで							
	以上~60 以上~40				基準を設定した	-0			е	С	d	
e: 20%=	卡満											
ا ملا	_			I AB 4								
指標	名	景観つ	くりに耳	又り組む	〕地域数(件) ———					-		
担当	部室	者	都市景観部	<b>3</b>		連絡先	2 2	2 - 33	97			
1 指	標の説明	明										
地域の信	主民が主	体となっ	て、景観	づくり	に取り組んでい	ることが明らかな	地域数					
2 指	標の意味	<del></del> 床				3 算出方法	・出典等	F				
景観を勧 標	観点とし	たまちつ	うくりの払	ぶりを	示す指	出典:事業担当	課調べ					
<u> </u>												
4 数		0年度)	平成24年	度評価値	平成32年度目標個	<u> </u>		根拠				
目標値	10年後の(十成32年度)		5	5 50		都心 4 行政区 (上・中・下・東山) での元学区の半分と、その他の 政区毎に 2 地区程度で約50件を10年間で取り組む。					の他の行	
	. v=	W. I <del></del>		No. 1-1-		WE HILE SEE HIS						
		回数値 最新数値 5年度 26年度			推移数值		単年度目標値 根拠 達成度					
数值		2 2			増減なし 5		32年度の目標を達成するために当該年 度に達成すべき数値 40.0%					
	스로뜨쓰				中長期目標	<u> </u>	H23(修徳,先斗町,新門					
	全国順位	数値	目標年次	達成度	ŧ.	艮拠		備考	H24 (姉小路	・二寧坂, 5 格, 北区中川 (二野)		
数值					44.44.5		倫, 古門前元町) H26 (三条通, 嵐山)					
	価基準	分するは	を成度が		6 <b>基準説明</b> 目標件数を基準に、件数毎に5段階評価			7 評価結果				
単年度目標値に対する達成度が, a:100%以上 (5件以上)					目標件数を基準に、件数毎に5段階評価  とした。				25	26	27	
b: 80% c: 60%		(4件) (3件)										
d:40% (2件) <b>d</b>   <b>d</b>   <b>d</b>						d						
le:20%	e:20%以下 (1件以下)											